

# 工程's連携：日めくり工程表 2 操作手順書

2025年9月

株式会社MetaMoJi

# 目次

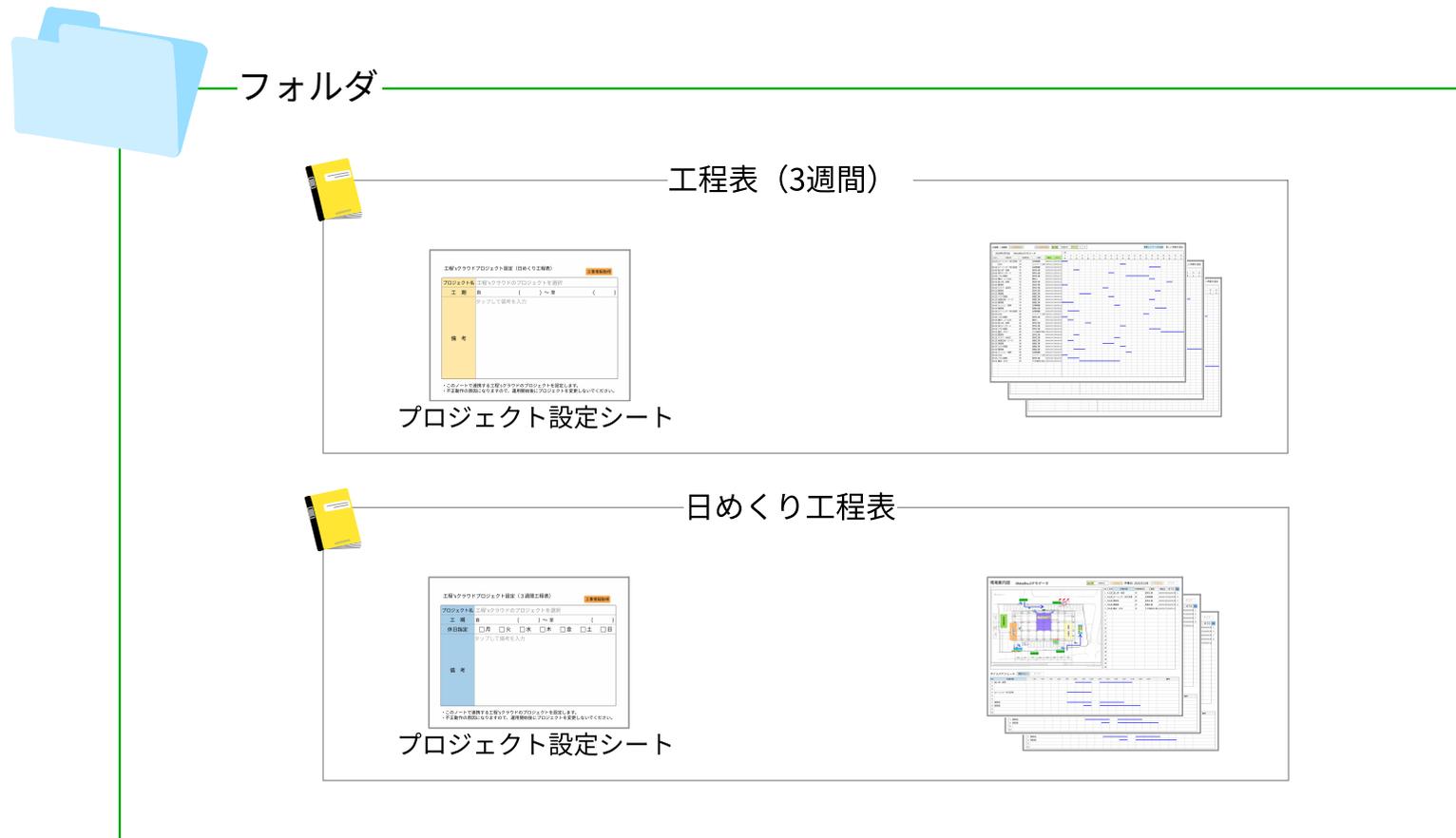
1. 概要
2. 構成
3. ノートテンプレート一覧
4. 各ノートの利用方法、解説
5. 外部サービスへのログイン方法
6. トラブルシューティング

※工程'sクラウドおよびOCP（Orario Cloud Platform）は、株式会社ウェブアイの商標です。



## 2. 構成

ノートごとに工程'sクラウドのプロジェクトを切り替えて運用することができます。  
 工程データはREST API経由で工程'sクラウドから取得しますので、任意のフォルダ構成で  
 ノートを作成していただけます。

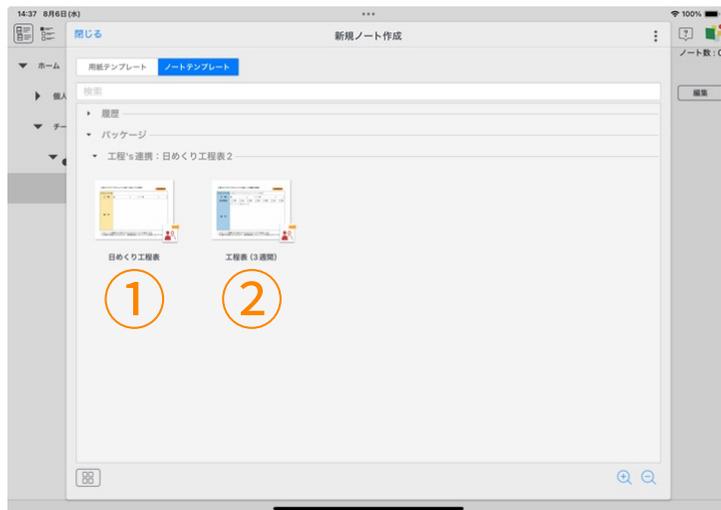


準備業務

現場業務

### 3. ノートテンプレート一覧

パッケージに含まれるノートテンプレートの一覧です。  
任意のフォルダ内にノートを作成して運用することができます。



#### ① 工程表 (3週間)

近隣作業や上下作業、前後の作業予定を確認するための  
3週間分の工程表を作成します。

👉 「4 (3) 工程表 (3週間)」を参照

#### ② 日めくり工程表

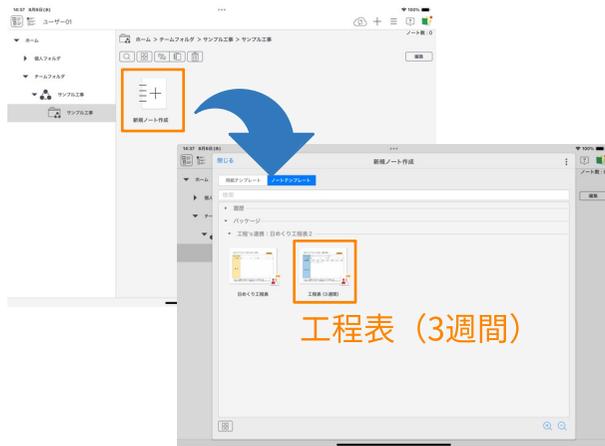
1日分の作業工程を元に現場配置図等を作成します。

👉 「4 (4) 日めくり工程表」を参照

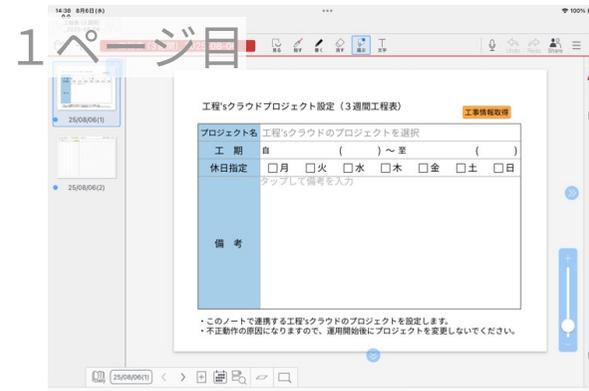
# 4. 各ノートの利用方法、解説

## (1) 工程表 (3週間)

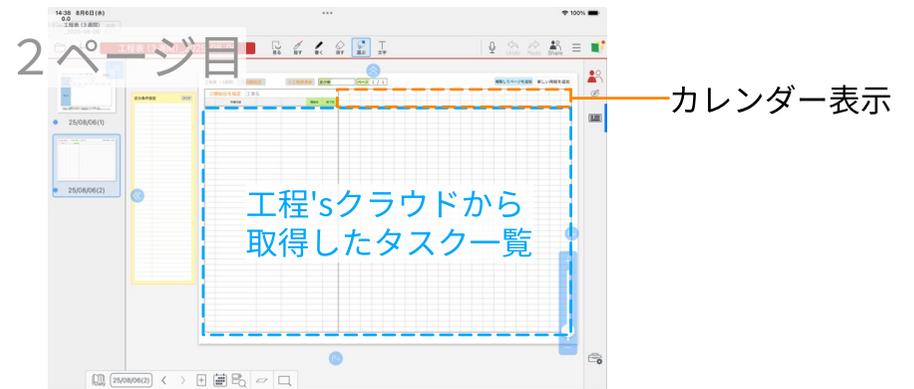
①新規ノート作成で、ノートテンプレート「工程表 (3週間)」を選択する。



②工程'sクラウドのプロジェクトを選択する。  
③「工事情報取得」ボタンを押下する。



④「①初期設定」ボタンを押下する。  
⑤開始日(②)を入力する。(条件設定も行えます。)  
⑥「③工程表更新」ボタンを押下する。

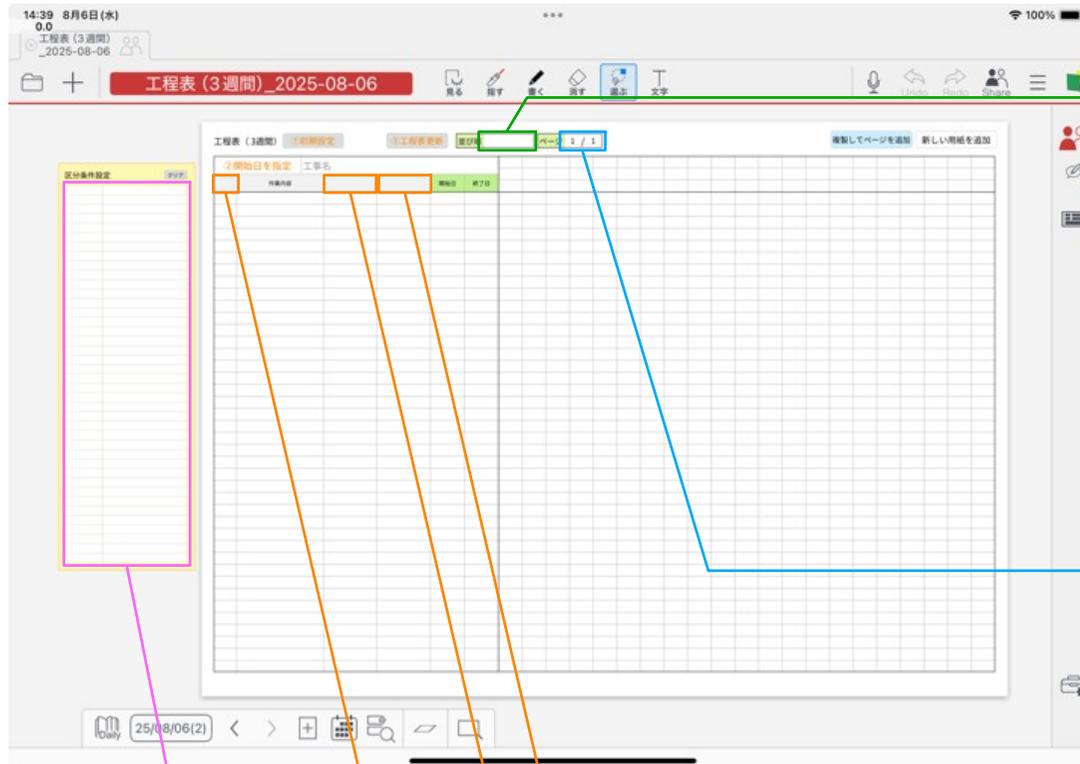


**ポイント** ノートごとに工程'sクラウドのプロジェクトを設定できます。

👉 その他フォームの操作方法は次ページ参照

## 4. 各ノートの利用方法、解説

### (1) 工程表 (3週間)



指定することで作業リストの並び順を  
工程'sクラウドの「区分」に準じて変更します。  
※指定がない場合は開始日/終了日の昇順で表示します。

表示するページを切り替えます。  
最大ページ数を越えたページ番号が指定された際は、  
1ページ目を表示します。

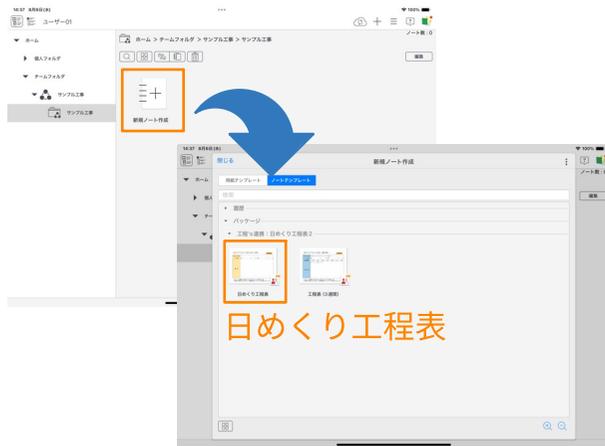
工程'sクラウドで設定した「区分」を  
作業リストに表示することができます。

タスクに紐づいた工程'sクラウドの「区分」を利用して  
作業リストの絞り込みを行うことができます。

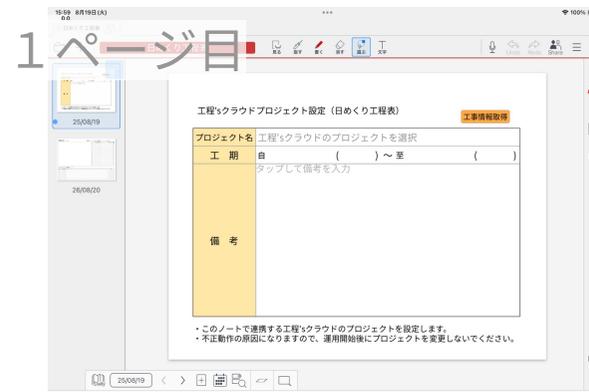
# 4. 各ノートの利用方法、解説

## (2) 日めくり工程表

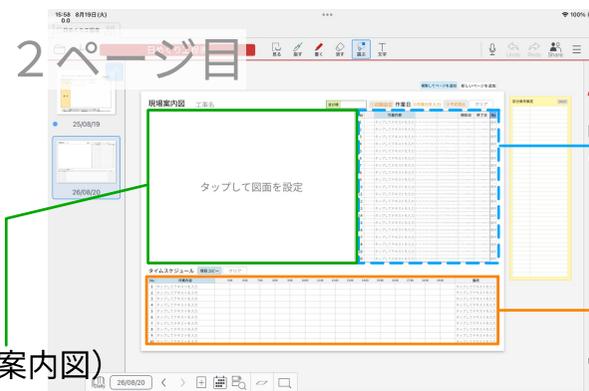
①新規ノート作成で、ノートテンプレート「日めくり工程表」を選択する。



②工程'sクラウドのプロジェクトを選択する。  
③「工事情報取得」ボタンを押下する。



④「①初期設定」ボタンを押下する。  
⑤作業日(②)を入力する。(条件設定も行えます。)  
⑥「③予定読込」ボタンを押下する。



**ポイント** ノートごとに工程'sクラウドのプロジェクトを設定できます。

👉 その他フォームの操作方法是次ページ参照

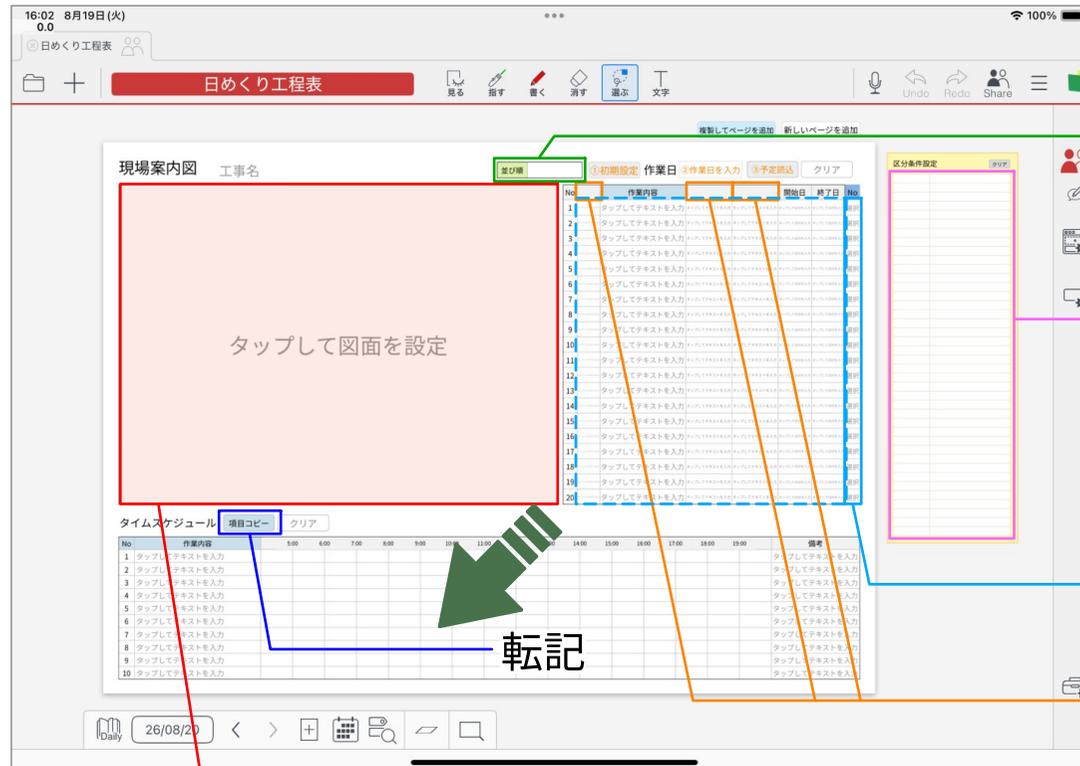
キープラン (案内図) 作成エリア

工程'sクラウドから取得した作業リスト

タイムスケジュール作成エリア

# 4. 各ノートの利用方法、解説

## (2) 日めくり工程表



指定することで作業リストの並び順を工程'sクラウドの「区分」に準じて変更します。  
※指定がない場合は開始日/終了日の昇順で表示します。

タスクに紐づいた工程'sクラウドの「区分」を利用して作業リストの絞り込みを行うことができます。

タイムスケジュールに転記する際に行番号を設定できます。

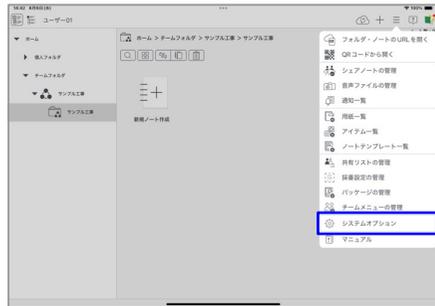
工程'sクラウドで設定した「区分」を作業リストに表示することができます。

図面（PDF、画像ファイル）を読み込んでキープランを作成します。  
図面ユニットに縮尺を設定することで、重機等の寸法設定したアイテムを利用して、現場配置図を詳細にシミュレートすることができます。

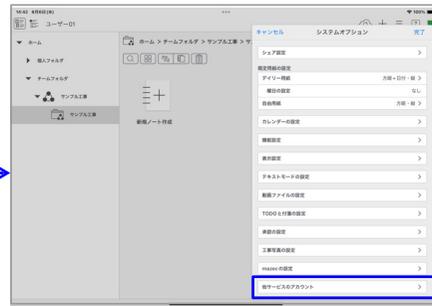
# 5. 外部サービスへのログイン方法

工程's連携を利用する際は、eYACHOからOCP（Orario Cloud Platform）にログインします。チームフォルダに設定したプロジェクトがOCPユーザーに割り当てられている必要があるため、工程'sクラウド側の設定も併せて確認することが必要です。

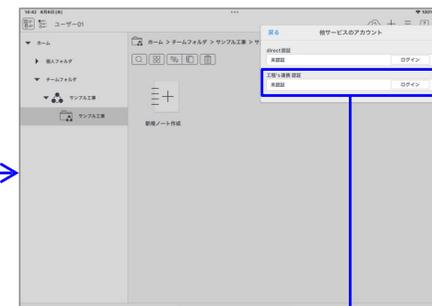
①三メニューからシステムオプションを開きます。



②他サービスのアカウントを開きます。



③「工程's 連携」認証を選択します。



OCP（Orario Cloud Platform）のログイン画面

④登録したOCPユーザーアカウントを利用してログインします。

**確認** 工程'sクラウドとOrario Cloud Platformの アカウント（OCPユーザー）は共通です。

## 6. トラブルシューティング

エラーメッセージが表示された際の原因と対処方法について記載いたします。

エラーメッセージ	原因と対処法
工程's連携 アカウントの認証が行われていません。 「システムオプション」の「他サービスのアカウント」で 認証後に実行してください。	OCP (Orario Cloud Platform) へのログインが行われていません。ログインした後に、再度操作を行ってください。
エラー ご利用中の環境ではこの機能はお使いいただけません。 管理者にお問い合わせください。	eYACHOにログインしているユーザーに、工程's連携に必要なスタンダードエディション以上のライセンスが付与されていないことが原因です。管理者に連絡し、ライセンス付与の申請を行ってください。
エラー このエラー コードに関連付けされたテキストが見つかりませんでした。サーバー名またはアドレスは解決されませんでした。	サーバーとの通信に失敗しています。通信状況の良い場所に移動して操作を行ってください。
エラー Http request failed. StatusCode=404	OCP (Orario Cloud Platform) の各種APIリクエストに失敗しています。ログインしたOCPユーザーに工程'sクラウドのプロジェクトへの割り当てが行われているかを確認してください。
エラー Http request failed. StatusCode=50x	50x系 (500や502等) のエラーはOCP (Orario Cloud Platform) のサーバーメンテナンス等が原因である可能性があります。しばらく時間を空けて、操作を行ってください。